

平成27年度 英語教育強化推進事業

外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

事業の目的

英語によるコミュニケーション能力を確実に養い、グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、外部専門機関と連携した効果的な研修を通して、英語教員の指導力向上を図る。

研修協力校

羽生市立村君小学校

研究主題

外国語を使ったコミュニケーションの楽しさと喜びを味わわせる指導方法の工夫

めざす児童像

- *相手のことを知るために積極的に「きこう」とする児童
- *自分・学校・地域のことやよさを伝え合おうとする児童

研究の視点

- *「きく（聞く・聴く・訊く）」の段階的設定
- *他教科と連携した学習活動の工夫
- *少人数を生かした個に合わせた活動と支援

研究の概要

学習活動の工夫① 「きく」「伝え合う」活動を学習計画に位置付けることで、段階的にコミュニケーション能力を向上させる

聞く (Hear)	無自覚にきいている。
聴く (Listen)	相手の思いを知ろうとする。
訊く (Ask)	自分の考えと比べながらきく。

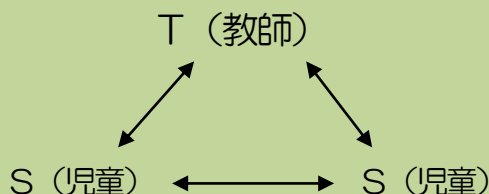
「Ask」をくり返すことで、お互いを理解する。

自己肯定感
自信

「伝え合い」

スムーズなコミュニケーションツールとしての
Reaction（同意・驚き）の重要性

学習活動の工夫② 活動形態を明確にし、相手意識をもった活動を行う。【多様な活動形態（発信→受信）の設定】



研究の内容



大学教授による指導



5年生の授業



【指導内容】

「聞くこと」 場面の必然性
やりとりの形式 アウトプット
少人数 等

【単元名】 Hi, friends 1 Lesson 6 What do you want ?

研修協力校

羽生市立西中学校

事業の目的

英語によるコミュニケーション能力を確実に養い、グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、外部専門機関と連携した効果的な研修を通して、英語教員の指導力向上を図る。

研究主題

4技能の基礎を養い、英語によるコミュニケーション能力を強化する指導改善の取組
～output を促す取組～

研究の具体

* output を重視しつつ、4技能のバランスを考慮した継続的な活動
教科の予習、本文の読み通し、25題プリント、フリートーク、教科書リーディング
テスト、英語の歌、スピーキングテストなど

大学教授からの指導内容

- * output を促し、自己表現力を高めるための具体的な手法、実践事例の紹介
- * 1 単位時間内における output 場面の設定、feedback の重要性、コミュニケーション能力の定着のための音読指導の重要性とバリエーションの紹介 等

2年生の授業



【単元名】 Program 9 A Priest in a Mask (Sunshine English Course 2)